

A2105 EF12-16 スノーブロー付 高崎第二機関区

予価:7,900円(税別)

JANコード:129449 カートン内入数:24

A2804 ED16-1 立川機関区 改良品

予価:7,900円(税別)

JANコード:099902 カートン内入数:24

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 単品プラケース入り)

実車

鉄道省は貨物用電気機関車としてEF10を製造していましたが、1941(昭和16)年に出力を向上させた新型電動機(MT39)を搭載して登場したのがEF12です。登場当初は沼津機関区・国府津機関区に配置されました。晩年は新鶴見機関区・高崎第二機関区に配置され、首都圏や上越地区のローカル貨物輸送に活躍しましたが、1982(昭和57)年を最後に全機引退しました。

1931(昭和6)年、中央本線甲府電化・上越線清水トンネル電化に伴って鉄道省は中型電気機関車ED16を投入しました。初の国産大型電気機関車のEF52をベースに小型化した設計で、一気に18両が登場しています。のちに中央本線、上越線の輸送力増強にともなって立川機関区、鳳機関区へ転出し、青梅線、南武線、阪和線などで活躍しました。F級電気機関車の入線できない線区で重宝されましたが、路線改良に伴って順次その数を減らし、最終的には1984(昭和59)年までに全車引退しました。

商品概要

- ・マイクロエース電気機関車シリーズの更なる充実
- ・人気の旧型電気機関車2種を発売
- ・ヘッドライト点灯(LED使用)

ぶどう色のデッキ付電気機関車EF12



- ・吾妻線・上越線に使用された晩年の姿を模型化
- ・スノーブロー装着

ぶどう色のデッキ付電気機関車ED16



- ・側面に保護棒を印刷
- ・前回生産分A2801に対し標記類の印刷を追加

オプション なし

付属品 なし